



高岡西部小だより

令和7年7月23日 発行 No.4

高岡市立高岡西部小学校



高西小 HP

連日暑い日が続いていますが、先日ようやく梅雨が明けました。この暑さにも負けず、「今日はプールに入れるから楽しみ!」「ぼくのアサガオ、4つも花が咲いたよ」と目を輝かせる子供たちの姿に、毎朝元気をもらっています。また、運営委員会による「あいさつラリー」もあり、赤いたすきをかけた子供たちが玄関前で元気にあいさつを交わす姿が、暑さを吹き飛ばしてくれています。

そして、いよいよ今週末から 33 日間の夏休みが始まります。健康と安全



あいさつラリー

★暑さの中、日々の見守りに感謝申し上げます。

に気を付けながら有意義な夏をお過ごしください。

猛暑が続く中、見守り隊、交通安全協会、PTAの皆様には、子供たちの登下校を毎日温かく支えていただき、心より感謝申し上げます。朝は登校班の最後まで見送ってくださる方や、千保川まで付き添ってくださる方、夕方は青少年健全育成協議会や防犯協会の皆様の見守りもあり大きな事故もなく過ごすことができました。

引き続き、お気付きのことがありましたら、いつでも学校へお知らせください。

★子供たちのために力を尽くす ～子供たちの学びの陰で～



用務員によるプランターの花の世話

本校の用務員たちは、木々の剪定や数多くのトイレの清掃、ごみの分別、校舎内外の修繕、さらにはプールや地下道の清掃まで、多岐にわたる業務に日々取り組んでいます。そのような中でも、子供たちが水やりを終えた正面玄関のプランターに、さり気なく追肥をしてくれており、色とりどりの花が学校に彩りを添えています。

また、1学期の給食は69回。毎日、旬の野菜を取り入れながら、子供たちにとって食べやすい献立を工夫している栄養士や、揚げ物のある日には30度を超える給食室の中で丁寧に調理を行う調理員もいます。このように、教員だけでなく、学校に関わるすべての職員が、子供たちのために汗を流してくれています。

1学期の終業式では、子供たちの努力とともに、こうした多くの支えがあるからこそ学校生活が成り立っていることを、しっかりと伝えたいと思います。

★子供たちもワクワク！新校舎の工事が本格スタート！

令和9年度に開校する、施設一体型の小中一貫校の新校舎建設が始まりました。旧西条小学校の敷地に建設される新校舎は、現在の校舎と渡り廊下でつながる予定です。先日からは、いよいよ大きな杭の打ち込み作業が始まりました。重機で運ばれた長い杭が、地面の中にどんどん打ち込まれていく様子に、子供たちは思わず口をぽかんと開け



て見入っていました。新しい校舎の完成を心待ちにしている様子がみられます。毎日、さまざまな重機が目の前で動く様子を見られることも、子供たちの楽しみの一つになっています。

★令和9年度統合に向けた小中一貫教育の取組

令和9年度の中学校との統合に向けて、現在準備を進めております。この度、小学校と中学校の教職員が協力して「高岡西部中学校区小中一貫教育グランドデザイン」を作成しました。(裏面参照)

地域への誇りと愛着を育む「ふるさと教育」を推進し、地域の人々や歴史、文化を学ぶとともに、自ら課題を見つけて解決に取り組む探究的な学びを進めてまいります。また、小学校から中学校までの9年間を見通した、系統的な指導にも力を入れてまいります。

既に市教育委員会との協議や、中学校の教員による合唱指導、地域の職人さんによる授業、小中合同の教職員研修等に取り組んでいます。今後も令和9年度の統合に向けて、教職員同士の交流や、小学生と中学生の交流活動を積極的に進めてまいります。



教育委員会との協議



中学校教員による音楽指導



地域の職人さんによる
「ものづくり・デザイン科」授業



小・中学校合同教職員研修

★楽しい読み聞かせで広がる世界

本校では、日常的に本の読み聞かせを行っております。高岡市立図書館主催の「わくわくブックトーク」では、テーマに沿った絵本の読み聞かせや手遊び等を通して、楽しいひとときを提供していただいています。

また、図書委員や学校司書による読み聞かせも大変人気があり、子供たちは物語の世界に引き込まれるように熱心に耳を傾けています。

夏休みには、ぜひご家庭でもお子さんと一緒に本を開き、膝を交えて語り合う時間を楽しんでみてはいかがでしょうか。



司書による読み聞かせ

★10月4日(土)「学習発表会」と「感謝のつどい」、そして「SKYまつり」を同日開催!

10月4日(土)に、本校開校第2年目の学習発表会を開催いたします。昨年は11月に別日で開催した地域の方への「感謝のつどい」ですが、今年は発表会当日に合わせて実施する予定です。これは、地域の皆様にも子供たちの生き生きとした姿をぜひご覧いただきたいと考えたためです。併せて、PTA主催の「SKYまつり」も昨年同様、同日に開催する運びとなっており、現在準備を進めております。子供たちの輝く姿を、ぜひ多くの方に見ていただければと思います。詳細については改めてご案内いたします。

★高岡万葉まつり 「万葉集全20巻朗唱の会」に参加します。

数多くの秀歌を残した万葉ゆかりの地である高岡市。高岡西部小の子供たちも万葉の衣装に身を包み、万葉朗唱の会(動画による出演)に参加します。また、越中万葉かるたにも挑戦します。◎高岡ケーブルテレビ放映予定日 10月4日(土) 21時44分~21時48分



★幼児期の学びを小学校へつなく ～幼保小連携の取組～



保育園での合同研修会

識的に協働することで、子供たちが自然に小学校の学びへつなげていけるよう、よりよい環境づくりを進めています。

具体的には、保育園・幼稚園で育まれた「考える力」「コミュニケーション力」「社会性」等の資質・能力を踏まえて、小学校ではそれらを生かしながら、「主体的・対話的で深い学び」の充実に努めています。

今後も定期的に合同会議や研修会を実施し、園と小学校の教職員が対話を重ねながら、子供たち一人一人の成長を支えていきます。

★子供に託してみる ということ

学校生活には、集団登校や清掃活動、休み時間等、1年生から6年生までの異学年の子供たちが関わる場面がたくさんあります。

先日、そんな日常の中で、子供たちが真剣に話し合っている様子がありました。耳を傾けると、話題は「集団登校で歩くのが遅れがちな1年生への対応」について。最初は「〇〇さんが歩くのが速すぎる！」「1年生は寄り道ばかりして困る！」「このままだと学校に遅れる…」と文句や愚痴の言い合いでしたが、やがて「歩幅が違うから遅れるのは仕方ないよ」「高学年が前後に立って背中を押すように見守ればいいんじゃない？」と相手の立場に立った前向きな意見に変わっていききました。

すぐに大人に頼るのではなく、自分たちで考え、解決しようとする姿—まさに、子供たちの学びの瞬間だったと思います。私たち大人は、つい手を差し伸べたり、先回りしたりして指導したくなってしまいます。でも、大人が問題を引き取ってしまうと、子供たちの気付きや学びの機会が失われてしまうこともあります。

トラブルや喧嘩、悩みごとは、子供たちにとって人との関わり方や考え方を学ぶ大切なチャンスになることが多いです。自分で考え、相手の気持ちを想像しながら乗り越える経験は、きっと「生きる力」につながっていくはずです。だからこそ、「これは誰の問題なのだろう？」と、少し立ち止まり、すぐに答えを出さずに子供に託してみる。その間に子供たちは確かに育っていくように思います。

いよいよ夏休み。毎日一緒にいると、つい口を出したくなることもあるかもしれませんが、少し距離をとって、子供の世界をそっと覗いてみるのもいいかもしれません。

子供の悩みは、最後にはやっぱり子供自身が乗り越えていくもの。私たち大人は、そばで静かに見守りながら、いつでも寄りかけられる存在でありたい—そんなことを思った出来事でした。